

# 顯真學報

第二卷 第一號

昭和六年十二月發行

親鸞聖人の徳號釋義……………	梅原真隆
如導は果して秘事法門の始祖なりや……………	藤季澄
四種往生の説に就て……………	潮留眞澄
隆寛律師と其著述……………	藤枝昌道
歐米宗教事情……………	外遊諸家
豊前學派の助正論……………	山名演暢
西隱大魯師の生涯……………	新道高明
近代獨逸思想と佛教……………	蘭田香勳
ソヴェート・ロシアに於ける反宗教運動……………	藤原凌雪
ロシアの農民と宗教……………	河上溪生

定價十五錢・送料四錢・一年會費參圓

發行所 京都市賀茂板倉町一六番 顯真學苑

<p>龍大教授 湯次了著</p>	<p>華嚴大系</p>	<p>菊版六百九十頁 定價五圓 送料拾八錢</p>
<p>龍大教授 湯次了著</p>	<p>華嚴五教章講義</p>	<p>菊版六百六十頁 定價四圓 送料拾八錢</p>
<p>前龍大教授 玉置範昂著</p>	<p>唯識學概論</p>	<p>菊版二百七十頁 定價貳圓五拾錢 送料拾四錢</p>
<p>龍大教授 明石惠壽著</p>	<p>獨對校 二十唯識論解說</p>	<p>菊版三百二十頁 定價參圓八拾錢 送料拾四錢</p>
<p>龍大教授 杉肇著</p>	<p>西鎮教義概論</p>	<p>菊版三百頁 定價貳圓貳拾錢 送料拾貳錢</p>
<p>元龍大學長 鈴木法深著</p>	<p>安樂集概說</p>	<p>四六版三百頁 定價貳圓七拾錢 送料拾錢</p>
<p>龍大教授 禰氏祐詳編</p>	<p>植藝 蓮如上人御文</p>	<p>四六版コロタイフ 特特價六圓 送料貳貳錢</p>
<p>井上哲雄編</p>	<p>真宗僧名辭典</p>	<p>袖珍二百八十頁 定價壹圓參拾錢 送料四錢</p>
<p>龍大教授 禰氏祐詳編</p>	<p>須彌圖譜 (コロタイフ版)</p>	<p>定價壹圓五拾錢 送料六錢</p>
<p>龍谷大學 圖書館發兌</p>	<p>龍谷大學 和漢圖書目錄 (真宗之部)</p>	<p>四六倍版二百六十頁 定價貳圓五拾錢 送料拾貳錢</p>
<p>龍谷大學 圖書館發兌</p>	<p>龍谷大學 和漢圖書目錄 (佛部)</p>	<p>四六倍版九百頁 特特價五圓 送料拾八錢</p>
<p>龍谷大學 圖書館編</p>	<p>佛教學關係雜誌論文分類目錄</p>	<p>菊版五百八十頁 定價參圓 送料貳拾錢</p>
<p>井上哲雄編</p>	<p>真宗學匠著述目錄</p>	<p>菊版三百頁 定價貳圓五拾錢 送料拾錢</p>

發行所

東京都七條猪熊  
橋口屋大坂五三二番

龍谷大學出版部

!! 見よ!! 慈愍三藏の往生淨土集公刊せらる!!

大屋徳城著

(五百部限絶版)

# 鮮支巡禮行

本書は左の三篇より成る

## 一、鮮支巡禮行

京城・開城・平壤・扶餘・慶州・海印寺其他朝鮮各地前後二回の旅行記。奉天・北京・大同石佛寺・洛陽・白馬寺・龍門・漢口・廬山・南京・蘇州・杭州・鎮江・揚州等第一回の支那旅行記を收め、著者自ら拓する靈通寺・玄化寺・仙鳳寺等大覺國師に關する碑銘、大同、龍門、廬山、棲霞寺、天竺寺等の拓本、並に蒐集品の寫眞を挿み、朝鮮・支那佛蹟訪問者の參考書・案内記として適當なり。

## 二、朝鮮海印寺經板攷

著者が海印寺に於ける本邦未傳の經板を調査印刷し、其研究の結果を詳細に發表したる純研究的論文。

## 三、往生淨土集

(大唐慈愍三藏慧日集)

海印寺より刷り還りたる慈愍三藏の著を、右經板攷の附録として、著者が句讀・反點を加へ、全文を公刊せるもの。支那淨土三流の中、慈愍の書は亡佚して傳はらず。斯書淨土教史上重要な書なり。

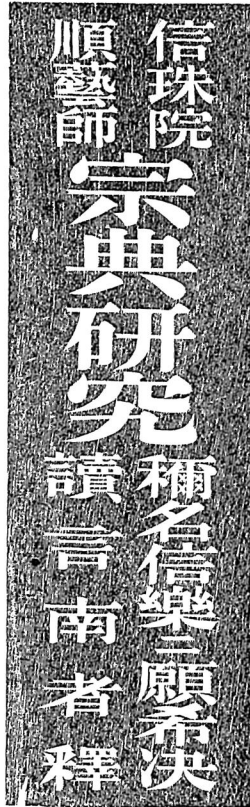
玻璃版五葉  
網版五十餘挿入  
四六版九ボイント組  
洋裝四百六十頁  
定價金參圓  
送料金拾八錢

東京都左區下鴨泉川町六番地

發行所 東方文獻刊行會

振替東京七八〇八番

金子大榮校訂 (丹山師肖像筆蹟數葉コロタイプ版入)



菊版クロース 上製

全 一 冊

定價 金參圓五拾錢

送料 二十二錢

新刊出來

信珠院丹山の名は、學寮を代表する講者の列には顯はれて居らぬが、心ある眞宗學徒の胸の中には深く印せられ懐かしまれてある。それは恐らくその講學の態度の一言一句をも苟もせざる謹嚴さに依ることであらう。またそれは問題のあるところを明かにし、飽くまでも宗意を、開顯せんとする忠實さにも依るのである。併しそれにもまして心ひかるゝものは、著作を貫流する求道聞法の敬虔さであらねばならぬ。而してその講學の精神は廣く眞宗の教相を明かにするよりは、寧ろ深く念佛正信の要義を究むることにと專注せしめたのである。

こゝに編集せられしものは、その代表的なる二著である。思ふに知新は常に溫古を伴はねばならぬものとせば、向後の眞宗學徒に取りても溫古の資料となるべきはまさにこの種のものであらねばならぬであらう。然るにこの二著ともに刊本ありといへども、或は絶版となり或は誤脱多し、普ねく學徒の要求を満たすことが出来なかつた、これ今回新たにこの校訂を同學の友に送る所以である。

發行所

京都市鹿ケ谷法然院町  
振替大阪五八一八二番

京都市寺町通三條上ル  
振替大阪五七〇〇七番

興法學園  
文榮堂書店

大谷大學  
圖書館藏

# 西藏大藏經甘殊爾勘同目錄

四六倍版  
假綴 全三卷

定價 各卷 國內金四圓 送料十八錢  
外國十五圓(七圓五拾錢) 送料共

༄༅། བཀའ་འགྲུབ་གྱི་དཀར་ཆག།

## 第二卷 出づ

一、昨年七月第一卷を刊行して、學界の異常なる注目を惹き稱讚を博したる本書は、こゝにその第二卷を公刊した。

一、本卷は般若、寶積、華嚴、及び諸經部の大半まで、殆んど主要大乘經典を盡してゐる。

(第一卷は *Rayud* 即ち *Tantra* 部——主として密教經典、陀羅尼、儀軌等)

一、本目錄は寺本教授將來の大谷大學圖書館所藏の康熙殿版赤字甘殊爾の目錄で、各經典の梵名、西藏名、譯名、翻譯者名を挙げ、對同する梵、巴の原本、漢譯經典を詳細に探索し、その分卷、分品、品名に至るまで對照記入し、更に西藏經版の異本たるナルタン、デリゲ兩版の所在葉數行數をも一々引用參照してある。

一、今や佛教學界は翕然として大乘佛教の研究に向つてゐるが、その資料は、先づ内容豊富にして、且つ梵語に親しき西藏經典に仰がざるを得ない。本目錄が佛教學者の坐右に必要缺く可らざるものである事は多言を要せずして明かであらう。

一、第三卷は今年初めに刊行の豫定。

發行所 京都市烏丸頭 大谷大學圖書館

振替五七六七番(大谷大學出版部)